

【プロジェクト概要】

所属:長谷部葉子研究会ニューヨークプロジェクト

渡航期間:2016 年 3 月 25 日- 2016 年 4 月 5 日

渡航人数:学部生 6人

目的: NPO 法人 New York City Global Partners 本部への訪問および

ニューヨーク市内における Global Partners Junior 実施校の見学と日本文化紹介を交えたワークショップ

【スケジュール】

3月25日(日本時間)日本出発/(現地時間)ニューヨーク到着

3月26日 大竹優志様と面会

3月27日 村井裕美子様と面会

3月28日 NPO 法人 New York City Global Partners 本部訪問 / Keio Academy of New York 訪問・授業見学

3月29日 McCarren Play Center でのWS実施

3月30日 コロンビア大学Teacher`s college 訪問・授業見学

3月31日 King Towers Community Center でのWS実施

4月1日 国連視察・吉川日本大使、堤参事官との会食兼ブリーフィング

4月2日 長谷部研究会OG様と面会

4月3日 ハーレム教会訪問

4月4日 (現地時間)ニューヨーク出発 / 4 月 5 日(日本時間)日本到着

【活動の様子と成果】

3月28日

<NPO法人 Global Partners 訪問 >

NPO 法人 New York City Global Partners 本部にて担当者 Travis Hardy 様と面会し、姉妹都市である東京での活動報告を行い、今後の Global Partners Junior (GPJ)カリキュラムの方向性について話しあった。日本での活動の成果物や、ワークショップで実際に行った生徒のプレゼンテーションの動画などを紹介し、日本でどのようにプログラムが行われているかを説明した。また、日本での活動の現状を踏まえた上で GPJのアジア圏での発展や、日本国内での姉妹都市交流、さらにサマープログラムの学生インターンシップなども見据えた話も進めることができた。今後も継続的に本部や世界各地と交流をしながらの活動が期待される。



<Keio Academy of New York 訪問・授業見学>



慶應の教育の一環として慶應NY校を見学した。対象は普段私たちが活動している中学生ではなく高校生であったが、日本国外での対日本人の英語教育を授業を見学させていただいたことにより実感値として現状を垣間見ることができた。授業はレベルごとにElementary, Intermediate, Honors の3つにクラスが分けられていたが、初級と上級の間にはかなりの差が顕著に見えた。日本から入学する生徒が比較的多いことから、学校内でのコミュニケーションは日本語でとられ、英語をコミュニケーションツールとして習得するには、日本国内での英語教育が抱える現状と共通する点も多いと感じられた。

今後は高大連携教育としてインターンシップや大学授業体験など双方向の関係性を構築していきたいと考えている。



3月29日

＜McCarren Play Center でのWS実施＞

15時から16時の間でBrooklynに位置するMcCarren Play Centerにてワークショップをした。

計60分のワークショップの流れは、①大学生の自己紹介(5分) ②日本の紹介の動画(2分半) ③動画から見つけた、日本とアメリカの相違点のフィードバック(7分半) ④おはしを使ったゲーム(15分) ⑤折り紙の相撲ゲーム(20分) ⑥日本の生徒に向けたアメリカの生徒からのメッセージ動画(10分)である。

生徒たちは日本に対してとても強い関心を抱いているようで、箸を使ったおはしゲームや相撲ゲームに熱中していた姿がとても印象的である。一人一人が日本に来てみたいことを動画に残してくれたので、普段日本で活動している高陵中学校や文花中学校の生徒に見せ、ニューヨークとビデオメッセージの交換などを行うことで、継続的に連絡を取り、次回の渡航で再びワークショップをすることを望む。



3月30日

＜コロンビア大学Teacher`s college 訪問・授業見学＞

全米最古であり最大の教育学大学院であるコロンビア大学Teacher`s collegeの博士号を取得されている村井裕美子様のご紹介により、大学訪問と共に実際に授業を見学させて頂いた。授業内容としては、”Social Networks”や”learning science”についてが主にテーマとして挙げられ、教師として現場で働いていた経験を持つ優秀な学生による授業に刺激を受けた。また、SFCの卒業生である沖田教授による授業であり、一後輩として世界で活躍する姿に大きな憧れを抱いた。



3月31日

＜King Towers Community Center でのWS実施＞

15時30分から17時30の2時間ハーレムに位置する King Towers Community Center で10歳から11歳の20人強の子どもたちに向けてワークショップを行った。2時間のワークショップで①自己紹介(5分) ②子どもの日についての説明(10分) ③新聞紙を使って兜を作ろう(30分) ④日本のみんなに自己紹介をしよう(ビデオ撮影)(25分) ⑤日本のうたを歌ってみよう(25分) ⑥日本で有名なダンスを踊ってみよう(25分)という内容でワークショップを行った。ワークショップを受けた子どもたちの反応として兜作りは男女問わず興味を持ってくれた。自己紹介のビデオ撮影準備の段階で白紙に自分の名前と絵やメッセージを書いてもらったが、日本語の発音やひらがなにすごく関心を持っていたように感じる。また、うたやダンスなど実際に日本の曲に触れる経験もさらに日本に興味を持つ機会になったのではないかと考える。ビデオメッセージという形で日本の中学生とアメリカの子どもたちが交友関係を築き上げることができるよう、継続した関係性を構築していかなければならない。



4月1日

＜国連視察・吉川日本大使、堤参事官との会食兼ブリーフィング＞

国際連合ニューヨーク本部に伺い、施設の見学及び吉川元偉大使、堤太郎参事官との会食兼ブリーフィングに参加させて頂いた。吉川大使からは、ご自身が現在のお仕事に就かれるまでのお話を伺ったり、日本やアメリカの学校のお話を伺い、大変貴重な時間を過ごすことができた。そして、堤参事官からは国際連合を取り巻く直近の諸問題のお話を伺った。テーマは①難民 ②北朝鮮 ③人権の三本柱である。実際に現場で働いている堤参事官からお話を伺うことができ、大変勉強させて頂いた。

ワークショップの対象である中学生に「異文化」を教えようとしている私たちが実際にお話を伺い、自分たちが抱えている世界情勢の疑問も堤参事官にお答え頂いたことで、クリアにすることができたことは非常に貴重な体験であったと感じている。日本に帰ってきながら、どのように今後の活動に還元していくかが重要であると感じている。

